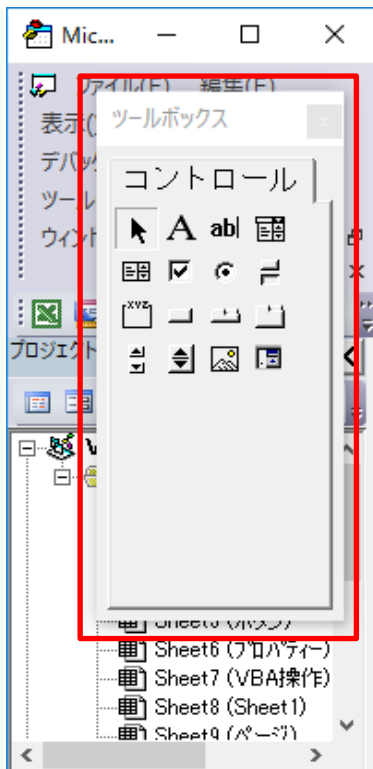


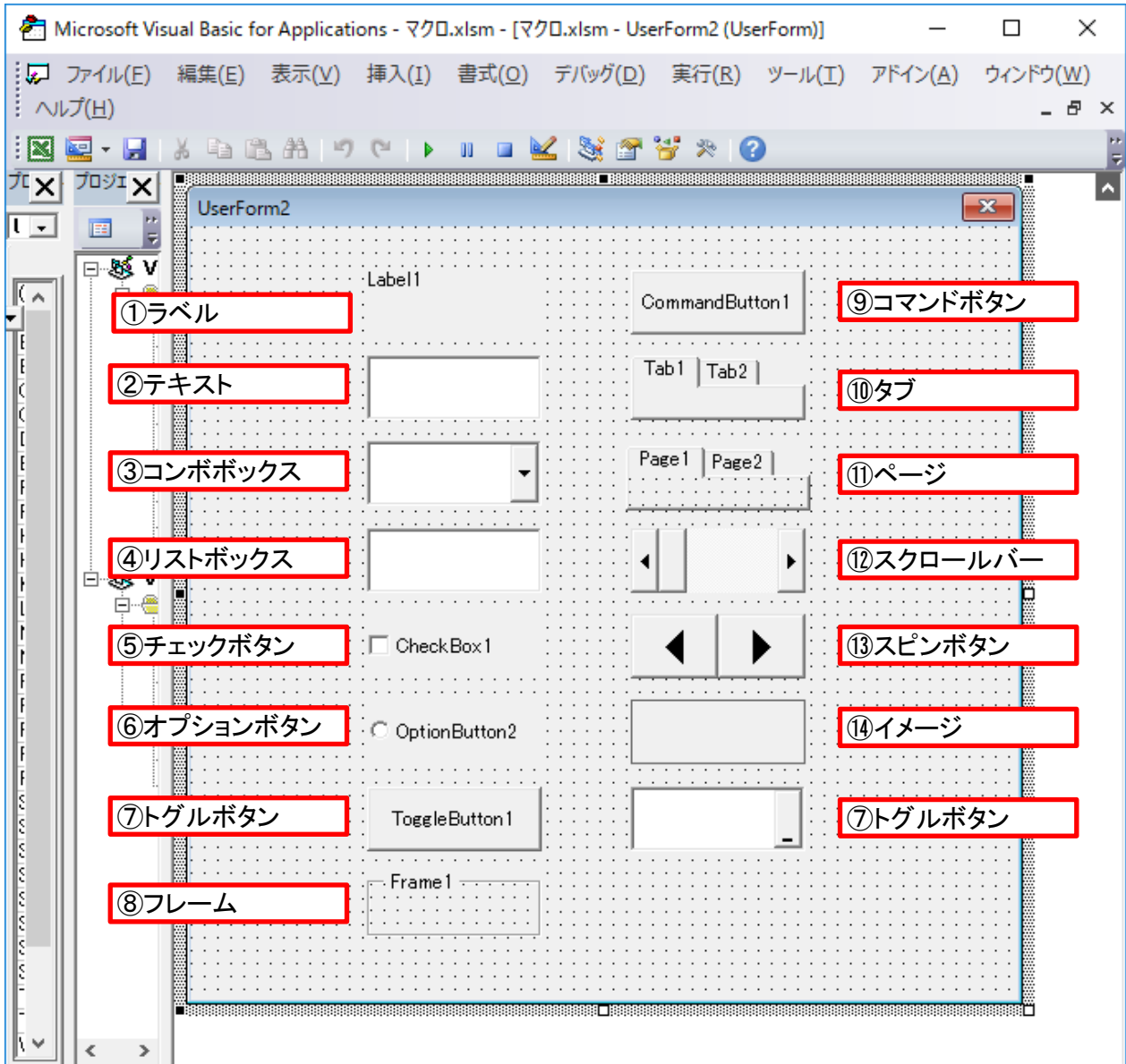
【コントロールの種類】

フォームに配置するコントロールは、ツールボックスで選択して配置します。

コントロールの種類は、以下の通りです。



フォームにコントロールを配置したものが下の画像です。



簡単ですが、コントロールの用途を以下に記述しておきます。

- ①ラベル
文字を表示するためのコントロールです。
- ②テキストボックス
文字を入力するためのコントロールです。
- ③コンボボックス
登録した値の一覧を表示して、値を選択するコントロールです。
- ④リストボックス
登録した値の一覧を表示して、値を選択するコントロールです。
- ⑤チェックボタン
表示した内容の有効、無効などをチェックして設定するコントロールです。
- ⑥オプションボタン
複数の選択内容を表示して、その中の1つを選択するコントロールです。

- ⑦トグルボタン
クリックされた状態、されていない状態を保持しているため、トグルボタンの状態を判別して処理を切り替えるときなどに使用するコントロールです。
- ⑧フレーム（グループボックス）
関連性の高いコントロールをまとめて同一フレーム上に配置するためのコントロールです。
- ⑨コマンドボタン
スクリプトを起動させるためのコントロールです。
「登録」「更新」「削除」「戻る」「他のページへ移動」「印刷」「終了」などのコマンドボタンを配置して、対応したスクリプトを実行するためのコントロールです。
- ⑩タブストリップ
同じ目的のコントロールをタブ上に配置するためのコントロールです。
フォームに配置するコントロールを関連するグループでまとめてタブ上に配置するためのコントロールです。
- ⑪マルチページ
同じ目的のコントロールをページ上に配置するためのコントロールです。
タブストリップと似ていますが、マルチページはページ毎に独立していてページ間の関連がありません。
- ⑫スクロールバー
表示できない部分（上下、左右）をスクロールするためのコントロールです。
- ⑬スピンドボタン
表示できない部分（上下、左右）をスクロールするためのコントロールです。
- ⑭イメージ
画像を挿入するためのコントロールです。
- ⑮RefEdit
セルの範囲を指定するときに使用するコントロールです。
右側のボタンをクリックすると、フォームが縮小されて、Excelシートが表示されます。シート of セル範囲を指定するとその情報がRefEditに取り込まれます。
選択されたセルの値を取得したり、色を変更したりする場合に使用されます。